

「第51回相模原市民桜まつり」に参加



自衛隊神奈川地方協力本部相模原地域事務所（所長 新妻 1等陸尉）は、4月6日（土）及び7日（日）に開催された「第51回相模原市民桜まつり」に参加し、相模原地域募集相談委員会が出展した自衛隊広報ブースを支援した。

新型コロナウイルス感染症等の影響で6年ぶりの現地開催となった桜まつりは、約300本のソメイヨシノが咲き誇る市役所さくら通りをメイン会場に、200を超える団体等のブース出展やステージ、パレードのほか、市制施行70周年を祝う記念イベントも行われ、午前中から汗ばむほどの陽気とも相まって、多くの人でにぎわった。

自衛隊ブースでは、装備品のパネル展示や「ちびっ子制服・迷彩服試着コーナー」などのイベントを行い、神奈川地本のキャラクター「トップニヤン」の着ぐるみも登場して多くの子ども達が集まった。特に制服や迷彩服を試着しての写真撮影は行列ができるほどの盛況で、子供たちにも大人気だった。

また、募集相談コーナーでは、自衛隊への入隊の説明などを行い、本人や保護者の方からの熱心な質問にも丁寧に回答し、自衛隊に興味を持ってもらうことができた。

相模原地域事務所は、「今後も募集相談委員会等と連携し、地域のイベントの場を活用して市民に密着した広報活動を行い、自衛隊に対する理解を更に深め、自衛官への応募促進につなげていきたい」としている。

